

農林水産商工常任委員会資料

(令和6年11月29日)

項目	ページ
■ 鳥取県中小企業団体中央会の新会館竣工について 【企業支援課】……………	2
■ 令和6年度スーパー工業士（第2期生）認定証授与式の開催結果について 【産業人材課】……………	3
■ 技能体験イベント及び技能開発表彰の実施について 【産業人材課】……………	4

商工労働部

鳥取県中小企業団体中央会の新会館竣工について

令和6年11月29日
企業支援課

鳥取県中小企業団体中央会（以下「中央会」という。）と鳥取県は、令和5年9月に「中央会の新会館整備及び県内中小企業支援に係る連携協定」を締結し、中央会の新会館整備を契機とした県内中小企業等協同組合及び組合員（以下「組合等」という。）への経営支援強化及び県内の脱炭素化促進に向けて連携を強化して取り組むこととしています。

このたび、中央会の新会館が竣工し、竣工記念セミナー等が開催されましたのでご報告します。

1 中央会新会館について

(1) 建設経緯等

- ・旧会館（昭和41年建設）の耐震診断を令和3年度に行ったところ、現時点では基準を満たすものの今後の経年劣化により基準を下回ることが想定されたため建て替えを決定。
- ・新会館整備を通じて経営支援強化と脱炭素化促進を図るために県との連携協定を締結。
- ・令和5年11月に着工し、令和6年11月5日に竣工。11月18日から業務を開始。

(2) 施設概要

- 〔所 在〕 鳥取市富安1丁目96番地 ※旧会館と同じ
〔床面積〕 570㎡（1階：300㎡（執務室等）、2階：270㎡（研修室、オンラインルーム等）
〔事業費〕 265,400千円（うち県補助金額：43,900千円 補助率1/10（ZEB対応部分のみ1/2）
〔主な特徴〕 ①ZEB(注)対応による脱炭素化の推進

高効率・高機能な空調機器、複層ガラス窓、高性能断熱材の採用等により、ZEB Ready（従来の建物で必要なエネルギー消費量から50%以上削減）の認証を取得。併せて、太陽光発電設備も整備。

（注）ZEBとは、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（Net Zero Energy Building）の略で、エネルギー使用量削減（省エネ）と再生可能エネルギー創出（創エネ）によりエネルギー消費量の収支ゼロを目指した建築物。

- ②オンラインルーム新設による組合等への支援強化
- ③洪水に備えたBCP（情報機器や重要書類を2階に集約）

2 竣工記念行事等について

①竣工式

- 〔日 時〕 令和6年11月5日（火） 9:30～10:30
〔場 所〕 中央会 新会館

②新会館内覧会

- 〔日 時〕 令和6年11月14日（木） 10:00～14:30

〔参加者〕 70名（県内の中小企業等協同組合及び組合員、商工団体、金融関係機関、行政機関 など）

③竣工記念セミナー

- 〔日 時〕 令和6年11月14日（木） 15:00～16:00

〔場 所〕 ホテルニューオータニ鳥取 鳳凰の間

〔参加者〕 70名（県内の中小企業等協同組合及び組合員、商工団体、金融関係機関、行政機関 など）

〔内容等〕 講 師：合同会社ワライト 代表社員 井本 浩嗣 氏（エネルギー管理士、中小企業診断士）

テーマ：「中小企業が取り組む脱炭素経営」

内 容：脱炭素経営は気候変動対策を織り込んだ経営、気候変動対策は緩和と適応

④竣工記念祝賀会

- 〔日 時〕 令和6年11月14日（木） 16:30～18:30

〔場 所〕 ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間



3 今後の取組予定

中央会においては、新会館を活用して、ZEB普及推進の意識醸成に向けたパネル展示説明やセミナーの開催、SDGsやカーボンニュートラルへの対応に係る専門家派遣、オンラインによる相談受付及び会議・セミナー等開催、その他組合等に対する各種の経営支援を推進する。

令和6年度スーパー工業士(第2期生)認定証授与式の開催結果について

令和6年11月29日
 雇用人材局産業人材課
 高等学校課

AI等の先進技術を利活用できる次世代ものづくり人材を育成する県独自の認定プログラム「鳥取県スーパー工業士」の第2期生の認定及び認定証授与式を開催しましたので報告します。

1 令和6年度鳥取県スーパー工業士(第2期生)認定証授与式の概要

- (1) 日 時：令和6年10月23日(水) 午後2時から午後2時20分
- (2) 会 場：特別会議室(議会棟3階)
- (3) 出席者：スーパー工業士認定者 13名、学校関係者
 (鳥取工業高校4名、鳥取湖陵高校2名、倉吉総合産業高校1名、
 米子工業高校5名、境港総合技術高校1名)
- (4) 次 第：認定証授与、知事挨拶、認定者代表挨拶
- (5) 認定日：令和6年8月26日



認定証授与

認定者代表挨拶

[認定者のコメント]

- ・AIシステムを導入した全自動運転の車両をつくってみたい。
- ・人口減少や地域経済の低迷を解決する人材になりたい。
- ・AIの知識を深め、鳥取県の未来を担う人材になれるよう努力していく。

[関係者のコメント]

- ・今年度の生徒は、時間を要する配線作業を難くこなしており、大変スムーズに演習が進んだ。最先端で難度の高い内容だったが、レポートもまじめに提出し、最後まで実習に取り組んでくれた。(AI・ロボット演習担当 鳥取大学工学部教授)
- ・生徒はみな、興味をもって取り組んでいた。いずれ本校の授業でも取り扱ってみたい。(在籍校の教諭)



集合写真

2 鳥取県スーパー工業士制度の概要

- (1) 目 的：生産現場においてAIをはじめとしたデジタル技術を活用できる次世代人材を育成するため、県独自の認定プログラムで学んだ工業高校の生徒を県が「スーパー工業士」として認定することで、認定者の就職や進学などのキャリア形成を支援する。
- (2) 認定要件：(ア) 認定プログラムを修了すること (イ) 高校の成績が優秀であること
- (3) 認定時期：3年生の夏
- (4) 認定プログラム

実施時期	認定プログラム	学習内容
2年生 (下期)	システムデザイン研修 (オンラインライブ講義)	AIの基礎のほか、システムの基本的な構成要素、システム設計を行うための視点・考え方などを学び、AIツールを活用した画像判別システムを試作。
	データサイエンス研修 (オンライン動画学習)	「社会におけるデータ・AI利活用」、「データリテラシー」「データ・AI利活用における留意事項」を学習。(オンライン動画学習Udemy/高校生の活用は全国初)
3年生 (上期)	AI・ロボット演習 (鳥取大学工学部集合演習)	システムデザインやデータサイエンス研修を踏まえた総括演習として、移動ロボットを使い、障害物をAIで画像判別する衝突回避アルゴリズムを構築。

[AI・ロボット演習(鳥取大学工学部)の様子]



ロボットへの配線、プログラミング



ロボット走行実験、プレゼン

(5) 認定者への支援措置

スーパー工業士キャリア支援補助金：デジタル関連の資格取得等の費用を最大15万円(10/10)支援

(6) これまでの実績 第1期認定者18名の進路：進学13名(うち、県内2名)、就職5名(うち、県内4名)

(7) 今後の取組 令和6年10月から第3期生が受講を開始(これまでで最多となる県下4校24名が参加)

技能体験イベント及び技能開発表彰の実施について

令和6年11月29日
雇用人材局産業人材課

厚生労働省が例年11月を「人材開発促進月間」、同月10日を「技能の日」とし、国及び都道府県において職業能力開発の向上促進及び技能振興の取組を強化していることに合わせて、本県においても技能体験イベント及び技能関係表彰を実施しましたので報告します。

1 技能体験イベントの開催

(1) 鳥取県技能祭の開催

次世代を担う子どもたちに将来の職業としてもものづくりの世界を目指す動機付けとすることを目的に技能職の体験イベントを開催。

次年度以降も、引き続き、鳥取県内における技能人材の確保のために、特に若年層への技能の普及啓発や魅力発信に取り組んでいく予定。

〈日 時〉 令和6年10月27日（日）

〈場 所〉 ポリテクセンター鳥取（鳥取市若葉台）

〈主 催〉 鳥取県技能祭実行委員会（県技能士会連合会、ポリテクセンター鳥取、鳥取県等で構成）

〈入場数〉 約2,200人（子ども連れ家族が中心）

〈主な出展〉 ・小障子製作体験（建具技能士会）

・鉄骨専用CAD、3Dバーチャル溶接体験（鉄構工業会技能士会・青年部会）

・ピカピカ泥団子づくり（左官業協同組合）

・親子木工教室（建築技能近代化協会）

・生徒が製作したロボット操作体験（鳥取湖陵高校）

・訓練生が製作したゲーム機体験（県産業人材育成センター）

〈参加者の声〉 ・専門の技能士の指導による泥団子づくり（左官）や障子製作（建具）など、普段できない体験が出来て、とても良い機会になった。

・プロの大工に教えてもらって、木工作業が綺麗にできて、嬉しかった。

・体験コーナーが多数あり魅力的だが、定員一杯となるものが多い点は残念だった。



（小障子製作体験）



（3Dバーチャル溶接体験）



（生徒製作のロボット操作体験）

(2) 技能体験会の実施

高校生をはじめとした若い世代や離職者を対象に、仕事の説明及び作業体験を実施した。

〈日 時〉 令和6年7月29日（月）

〈場 所〉 中部建築工務士会（倉吉市上井）

〈参加者〉 高校生、離職者 計4名

〈内 容〉 建築大工に係る鉋削り、鋸、のみ加工



2 令和6年度技能関係表彰

技能職の地位向上を図り、技能振興・技能承継の推進を目的に国及び本県において優れた技能を有する者等を表彰している。

(1) 職業能力開発関係厚生労働大臣表彰（令和6年11月20日に厚生労働大臣から表彰授与）

技能振興、技能検定に永年にわたり多大な貢献があった団体・個人を表彰

【技能振興関係】（優良事業所）後藤工業(株)

【技能検定関係】（優良事業所）西日本旅客鉄道(株)後藤総合車両所

（功労者）岡田 健治 氏（鳥西商会）

(2) 鳥取県知事表彰（令和6年11月15日に平井知事から表彰授与）

表彰・認定名	表彰の対象	氏名（職種）
優れた技能者	県内屈指の優れた技能を有する方を表彰するもの	池田 勝美 氏（建築大工） 大曲 澄晴 氏（西洋料理） 邨上 裕也 氏（とび）
鳥取県高度熟練技能者認定	製造業の基盤となる職種において優れた技能を有し、後進育成に意欲のあるもの	宮本 博宣 氏（機械保全）



その他、技能検定事業功労者（5名）・協力事業所（4事業所）、技能検定成績優秀者（7名）を表彰